

刊夕 日十月二十

# 常磐毎日新聞

定額 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元  
 印刷所 常磐毎日新聞株式會社  
 電話 六三〇  
 發行所 常磐毎日新聞株式會社  
 電話 六三〇

## 陣中想出話 (一)

平町出身  
 歩兵第十九聯隊 水野重光  
 第三中隊  
 ▼吉林附近討伐の一日  
 時は昭和七年九月十九日  
 午後六時吹く風は身にしみ  
 る秋の氣候だ、我聯隊は吉  
 林東南方約四里の地に居る  
 匪賊討伐に向つた、夜襲の  
 目的にて夜行軍にて此の敵  
 の全滅を圖つたのでした。  
 月は皎々として大平原を照  
 して居る我河村支隊は蟻の  
 行列の如くに月明の道を東  
 へと行動を開始した。

## 潮聲視靜帖 (一)

一背戸山に鳩の鳴くなり暮の秋  
 行く秋や雨にさびれし破れ芭蕉  
 柿の葉をゆする風あり暮の秋  
 いたつきのいつか忘れて今朝の秋  
 濤音の高さがさふし秋の暮  
 おこたりて風邪よくひくやそら寒  
 一鉢の菊の香めつる机かな  
 装ひし人にも春の社頭かな  
 短日の廂低しと思ひけり

## ノット

煮物の醬  
 油は、一  
 度に入れ  
 ず、何度にも分けて入れ  
 まよと、色も、艶も、味も  
 よく、好みの鹽加減に煮上  
 ります。  
 沿ふて南進する事約一里位  
 と思ふ頃砲聲が聞えた野砲  
 だなあと幹部は話し合つて

居る集中射撃には少し早い  
 困つたなあと首をかきあげて  
 居る、我中隊は別命にて南  
 端占領小高い山に陣地を占  
 領して敵の退却を待つて居  
 た。

二明日の献立二  
 【朝】八杯とうふ すまし  
 汁  
 【晝】むし肴 ひらめ  
 【晚】半べん付やき さつ  
 まいも甘露煮

東の空が白んで来たと思  
 ふ頃監視兵が敵兵我方向に  
 退却して来ますとの報告あ  
 り、我等は喜ば勇んで待つ  
 て居た、三百米前方迄来た  
 然し敵は未だ我が中隊の居  
 る事を知らんらしい、此の  
 時始めて射撃開始の命令あ  
 り待ちに／＼たる我等は百  
 發百中だ、見て居る内に人  
 の山をなす、二三百の敵は  
 一人残らず全滅だらう、大  
 陽は天空高く登つて居る砲  
 撃は旺にして砲聲えん／＼  
 たり、袋の中の鼠同様に敵  
 は川の中に入る者もあつた  
 川岸の柳の樹下の来た時、  
 百數十頭の支那乗馬がつか  
 がれて居たまるで我中隊は  
 乗馬隊の様だ一人にて二、  
 三頭位つゝ持つて居る、い  
 よ／＼乗馬中隊中隊の集結  
 と成つた頃第二小隊より小  
 隊長戦死との報告だつた。  
 此の餘り突然なるに驚き

顔色をかへて無念残念と落  
 膽す一行は戦勝の喜びに次  
 ぐ此の悲報無念の涙を呑ん  
 で吉北大營に引上げやが  
 て淋しき告別式となつた。

三五七祝  
 子供服  
 オーバー  
 帽子  
 シヨール  
 流行シヨール  
 綿・モメリヤ  
 セ・その他  
 特價賣出し  
 ...12月6日ヨリ...  
 ...12月10日マデ...  
 ヤルツ  
 〇四一電 四平

咽喉鼻 専門科  
 入院 應需  
 平町田町七〇番地  
 山内醫院  
 醫學士 山内享吉  
 電話六九一

新築落成  
 開業御披露  
 各位益々御清昌の段奉賀候扱て去る八  
 月一日類焼以來休業致し居り候處愈々  
 落成本日より従前通り開業致し候間舊  
 に倍し何卒御最負願ひ度此段以紙上御  
 願ひ申し上げ候 敬具  
 御料理 玉よし  
 平南町川岸通り 電四二六

三五七祝  
 ◎御祝特別勉強  
 サクラ寫眞館  
 平町田町驛前通り

旭硝子株式會社製品  
 赤菱印  
 板ガラス  
 製造 販賣  
 硝子 壺  
 硝子 食器  
 其他 各種  
 松崎硝子製作所  
 平町新川町(電話一四二番)  
 〇支工場 仙臺市榮町(電話五九七番)

江戸前料理  
 寄なべ はまなべ 鳥なべ  
 ちりなべ かきなべ  
 ▼出前! 迅速! ▲  
 錦水  
 電話四四四番

イヤ! 君!  
 いゝ冬服を求めたね  
 断然三二年型だよ  
 いやコレカネ!  
 例の...「ソレ」  
 正札堂さ  
 六三四電通場車停目丁四町平



# 郡下災害著しく 全部に縣補助

## 内務省事務官が査定

### 近く復舊工事

過般の大暴風雨で未曾有の大惨禍を蒙つた石城郡内各町村では此の災害復舊に就いて道路七、橋梁七、河川二十五、港灣六、

其の他 町村補助十、合計五十五件、十二萬四千八百六圓の縣費補助を申請中の處既記の如く内務省から特派された査定官一行が去る二日來郡、災害ヶ所全部に亘つて實地踏査の結果豫想以上の激甚な災害に驚

### 生徒の手で

#### 学校の破損を修繕

##### 磐中が作業科の

##### 時間を利用して實習

磐城中學校にては植木類の手入れや校舎の小破修繕に一々職人の手に掛けてゐた爲め一年を通じては是等の費用が著しく多額に上るので今後は幾分なりとも節約しやうと同校生徒の作業科

### 平第一の珠算選手

#### 十九日の競技會に出場

平第一小學校にては來週、九日午前九時より第十八回

珠算競技會を催すが問題は讀上算、見取算、各二十題宛にて出場選手は尋常科第五學年以上各級四名宛左の如くである

- (五ノ一)坂本行藏 藁谷公儀 藤田榮一 大野泰志(五ノ二)大塚武雄 新

### 市價の一割安で

#### 日用品を提供する

##### 大浦信用組合の廉賣デー

石城郡大浦村信用購買組合では現在組合員七百餘名に及び郡下有数の組合となつたので近く廉賣デーを催し日用品を市價の一割安を以つて供給すべく計劃中であるが年末を控へて居る事とて組合員は大喜びである

### 唱歌教授

#### 指導者を招聘

平第二小學校にては來る十日午前八時半より福師教諭清野健氏を迎へ唱歌の指導を受ける由にて附近十六校よりも夫々參觀者ある等因に當日指導を受ける學年擔任者は左の如くである

- 一學年木村 一學年根本

- 井保夫 鶴沼朝 加藤浩平(五ノ三)關内定之 塚本正光 安齊光男 山家博孝(六ノ一)志賀正義 石黒武男 阿部定男 中野義廣(六ノ二)大森文勝 根本忠雄 内村忠雄 鈴木彌之(六ノ三)名尾卓朗 河野和平 鈴木保司 山崎道雄(高ノ一)愛澤麗山 村上徳次佐 藤和男 松崎康利(同二)和田浩美 大谷英夫 菱沼三郎 高野雅(高ノ二)清水久吾 寺門友巳 鹿島幹司 石井實(同二)福田保夫 小崎利光 橋谷田勝男 小曾根金右衛門

### 行惱みの

#### 田町々有地處分

##### 更らに委員を擧げて再調査

平町では十日午前十時から土木委員を召招、二前町會に於いて決定を留保された田町(現マーケット)町有地の賣却案は委員を擧げて再調査する事となり此の他才地小路湯殿山下町有地の借地願は却下、田町、一、二丁目南町の排水工事は田町區の寄附金豫定に達せず工事行惱んでゐる爲め交渉委員を擧げて田町區に寄附豫定額の募集方を督促する事と決定した

- 郎 川前鈴木榮治 桶賣山崎哲雄 内郷壽高佐藤一郎 内一齊藤齊 内二堀一郎 内三中村辰四郎 好間壽高吉田庄太郎 好尋高橋武男 飯野長谷川政 平窪井上絶

平法曹納試合 平法曹團野球チームにては本日午後一時より第一小學校グラウンドに於て辯護士對裁判所の納會試合を行へ終つて懇親會を催すと

一冊の代金で 御希望通りな 五冊の雜誌が 自由に讀める 川崎巡回文庫 電六三〇番 (申込次第規則書進呈)

## 金銀高價買入

質札は(金時計鎖指輪類)有利に御相談致します 平町二丁目(三幸堂跡)

## 根本時計店

電話六〇七番

毎度御ひいき

有難ふ御座ります

うなぎの御用命は

## うなぎ 奴

平町田町(電話二二番)

ホテル御座敷の設備あります。皆様の御立寄を!!

### 一般物質

#### 各種債券類

## 三井質店

平町四丁目六番 電話六〇六番

- セメント 壁用材料 コールタール
- ペンキ塗料 板ガラス
- 磐城セメント株式會社 代理店 西村屋藥舖 平町二丁目 電三

# 小名濱町に警察署

## 町當局が實現運動

### 大小名濱町建設を目指して

石城郡小名濱町は目下建設途上にある大商港と多年懸案の平小鐵道實現を見越して近年異状な膨張振りを見せて居り町當局は此の二大工事の實現促進に奔走する傍ら將來の大小名濱町建設を目指して小學校の増築、區劃整理、道路網の完備等に計劃

を始めてゐるが最近町警部派出所の警察署昇格を要する聲が漸次町民間に擴まつて來たのに鑑み町當局でも愈々該

昇格運動に向つて積極的になり出す事となり近く町有志町會議員等と協力具體的運動に着手する事になつた

## 先生若かりし頃

### 讀んだ圖書類を

#### 生徒等に御一覽

磐城高等女學校職員一同は生徒等に參考の爲め各々學生時代に使用した圖書類を同校の圖書部に寄贈すると

## 植田聯合

### 農作品評

#### 入賞者決定

既報石城郡植田、山田兩町村農會聯合農產品評會は去る八日より植田市場に催され出品五百二十九点の多數に達し昨日審査の結果入賞者を左の如く決定した

本年四月二十日双葉郡大野村大字大川原富岡營林署官行事務代所居住吉永金治留守宅へ何者が忍び入り金八十圓、積立の郵便貯金通帳を窃取したる者あり其行衛捜査中の處本日双葉郡浪江町

## 犯人逮捕

### 小林検事指令

平町古鍛冶町三八山形縣最上郡上野戸澤村字根坂生れ無職高橋寅二郎(三)は去る八日內郷村御座地内で長橋町古物商屋一郎を呼止め植田町金畑二四渡邊善助であるを偽稱し金鍍金の時計側

## メツキの時計側を

### 純金だと偽る

たが星は其後に至つて鍍金であると解り植田の渡邊方を尋ねたが渡邊なる者は全然ないので平署に届出た爲め署員が内偵の結果前記高橋の犯罪と判明昨夜古鍛冶町の自宅にて檢舉された

## 政治學校の生徒

### 角帽姿で窃盗

#### 手配中捕る

平町驛前伊達屋旅館に滞在中の日本政治學校生徒と自稱する千葉縣君津村生れ東京市尾久町下尾久八四居住三留榮治(三)は去る八日夜同旅館より現金五十圓を窃取逃走したので届出により平署で各地に手配中昨十

## 草野農産品評

### 町直營に

#### 大工職等陳情

既報石城郡小名濱町では小學校増築案を去る七日の町會に附議せる結果工費五萬三千圓を以つて他に請負はしむる事に決定したので同町の大工、左官、建具職等百名は同工事を町直營工事として自分等に職を與へられたいと九日町役場に陳情した

## 狂犬病豫防

### 各校で講演

平町各中等學校及び各小學校にては明日から一週間の狂犬病豫防デーに際し注意を喚起する爲め夫々校醫を招き講演會を催すと

明日の部  
今夜も明日も北  
西の風小雨模様

- 今晚の部  
後六、〇〇 子供の時間  
少年講談「神馬金華山號」  
三浦樂堂  
後七、三〇 國際時局特別講座(其五)  
後八、〇〇 常磐津「釣女」  
常磐津千歳太夫外  
後八、二〇 小唄 唄夢胡

- 佐和 三味線胡米 替胡  
後八、五〇 忠臣藏花曆  
(第十)映畫物語「高田の馬場の仇討」谷天朗 伴  
奏指揮田中豊明  
後九、三〇 滿洲より  
後九、四〇 全國ニュース  
氣象通報 番組豫告

- 明日の部  
前九、一〇 養料料理  
養研究所  
前九、三〇 (子供の時間)  
お話し「拾銭で出来る面白」  
「理私玩具」柚木卯馬  
前一〇、〇〇 宗教講話  
「成佛の體驗者與教大師  
新義真言宗豊山派管長富田敦純  
前一〇、四〇 講演「和鋼」  
工學博士工藤治人  
前一〇、一〇 諸曲講座  
「謠の道しるべ」(四八)  
實演櫻間金太郎解説池内

- 信嘉  
後〇、五〇 三曲 佐藤佐喜智外  
後一、二〇 運動競技關東關西蹴球リーグ決勝試合  
狀況甲子園より中繼  
後六、〇〇 (子供の時間)  
マンドリン合奏と獨奏東北帝大マンドリンクラブ  
後七、三〇 忠臣藏花曆  
(第十一)箏曲小唄忠臣藏  
氣賀慶重外  
後八、〇〇 民謡その子外  
後八、四〇 放送舞臺劇  
「與話情浮名横綱」京都四條南座より中繼市川羽左工門外

草野農産品評 石城郡草野村農會では明日午前九時より同村小學校に於いて農産品評會を行ふと

## 酒井氏の不幸

平町五丁目酒井亥之次郎氏夫人チヨ子刀日本日逝去、明日午後二時自宅出棺の由

平職業紹介所報告  
回人を求める方

△商店雑役 十七才 尋卒  
仕着小遣(平町某)

△給仕 二十迄 尋卒 月  
四圓(平町某食堂)

△女中 二十迄 尋卒 月  
三圓(平町某)

△自動車助手 十七迄 高卒  
仕着外小遣(平町某)

△回職を求める方  
△出前持 二十三才 高卒  
給料面談(平町某)

△鍛冶職 十六才 高卒  
給料面談(磐崎村某)

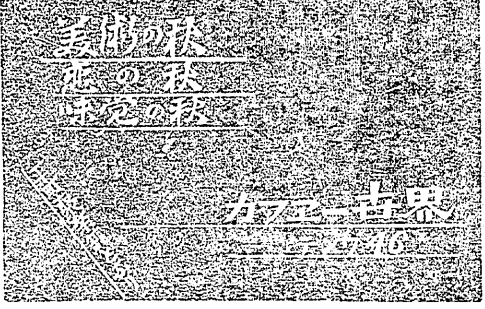
△賣子 五十八才 讀書し  
得 給料面談(新潟縣某)

△女中 二十才 尋卒 給  
料面談(平町某)

△雜夫 五十五才 尋三修  
給料面談(平町某)

## 平町人事

△久保町七當時茨城縣多賀郡助川町大正壽町八一荒川與一氏長男昇  
△四帆町一四鈴木誠氏三女昌子  
△新町二二猪狀(三四)  
△五丁目一〇酒井チヨ(六七)



## 市原醫院

平町 田町  
電話 一一四番

# 慕末御前

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演  
近藤紫雲畫

第二百廿一席 平手造酒

祝言に招かれて

笹川の繁藏は神崎の友五郎の意見に就き助五郎から用心をしてゐたが、危害を加へる様子が無いばかりか自分の縄張内には飯岡の若い者の姿も見えぬ、それが爲に段々心に緩みが出て来た

繁「彼奴等は俺の威勢に驚いて指をさすことも出来ねえが、意氣地のねえ奴だ」と斯う思つて居りました

スルト翌年六月の事、笹川から二里ばかり離れた神代の名主宇右衛門の伴市太郎が、關戸の豪農藤本嘉兵衛の娘を貰ひ婚禮の當日、豫て繁藏とは知己ですから、此のことを知らして来た、其處で繁藏は祝物を持ち自分の銀藏を連て宇右衛門の許に來ました、何にしる名主を勤めてゐる事としてこの日は多勢の客もあり、日の暮に駕に乗つて媒酌人に送られて来たは花嫁、暑いの婚禮は困るが今年はこの月より外によい月はないと易者に云はれて、此の暑中に儀式を擧げる、先づ三三九度の盃も濟んで、色直しとなつて客は打寛衣、色直しを擧げる、繁藏もお目出度

う御座いますと祝辭を述べ盃を取つたが例になく大層酔つた  
○『親分今夜は着いだの』  
繁「蒸しますね、然し暑い時に涼しいと作物に障るだらう」



○『さうでございます、今年は田畑とも出来がよいだその出来がよいで思ひ出したが、此家の伴さんも能く出来たものだ、一粒種はよく實のるとやら、どうもこれは一人子の方が能く出来る、又嫁さんも美し容貌だ、お雛様を並べたやうだ

つほみにして酔を醒してお開きに仕る』  
○『親分好い御機嫌だの』  
繁「酔つた、此處を借りるせ」  
とゴロリと横になつたが問もなく心地よさうに睡つてしまつた、中に來客も追々引取る、繁藏の供を

親分、もう一つお上んなさい  
繁「もう飲めません、すつかり酔つてしまいました、芽出度い、と其のお芽出度に浮かされて、盃の數を重ね近頃こんなに酔つた事はない、あ、酔つた酔つた皆さん御免なさいまし」と繁藏はこの一間を出て作男の居る部屋に來て繁「まことに濟まねえが少し寝かしておくれ、恐ろしく酔つてしまつた、とてもこれでは笹川まで歸る、デハねえ、お開きになりそうもねえ、暫く此の部屋でお

して來た銀藏はこれも臺所で馳走になつてゐたが銀「モシ親分はどうしましたねエ、酔つて寝てゐるともうお開きにしなければいけねえ、何處に親分は寝て居なさるか」と女中に聞くと男部屋だといふ、それへ來て見ると能く寝てゐる  
銀「サア、親分、引上げませう、お客様は大分お開きになりました、モシ親分どうしたんだ、モシ、親分」とゆり起したが又バツタリ倒れてしまふ、銀藏は困つてゐる、そこへ出て來たは主人の宇右衛門  
宇「親分は此儘寝かして置いて明日迎いに來ておくれそれまで確に親分は預かつて置く」  
銀「さうでございますかえ、それでは私だけお開きにいたします、モシ親分、姐さんが心配してゐませうから先に引上げませ、さアさこの袴を脱いで羽織を持つて行きますから」  
やう／＼浴羽織をとらしてこれを包にいたし、土産物を下げて  
銀「それでは親分の所は宜しくお願ひ申します」  
宇「承知した、明日の朝來て下さい」

## 上田外科醫院

平町 南町  
電話一二九番

## 梅毒 淋病

淋病 皮膚病 婦人病 腸胃病  
門專 院醫科 院醫科  
十二指 腸虫病  
電話一七〇番

看護婦急派の求めに應じます  
平町南町  
平看護婦會  
電話三〇七番

七五三御祝  
小供靴大賣出し  
△新型實用品  
底革表 七〇より  
各種豊富  
△小供ゴム長靴  
四〇より  
御進物にゼヒ。  
大塚製靴部  
田町。電話七七番

## 耳鼻咽喉科専門 大和田醫院

平町南町  
電話一七〇番

## 吉田眼科病院

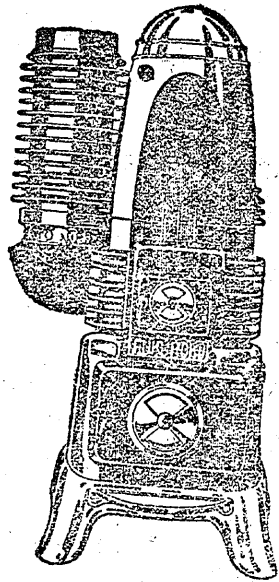
平町南町。電話六八番

## 木村外科醫院

平町五丁目橋際  
電話三〇九番

## 花柳科専門

電話三七番へ  
カタログ御申下さい、早速持參致します  
福祿ストープ福島縣一手販賣  
阿部石炭商店  
平停車場前



貸切の御用命は！  
獅子吼(四四九)ノ勢デ  
眞先ニ……(マツサキ)  
三九ニタクシーへ!!!  
嚴冬の征服者  
福祿ストープ  
戸毎に福祿！四海は常春!!!